

9月

富山ろうさい病院で 肥満症治療が始まりました！

第二循環器内科部長 **くわはら ひろゆき**
桑原 弘幸



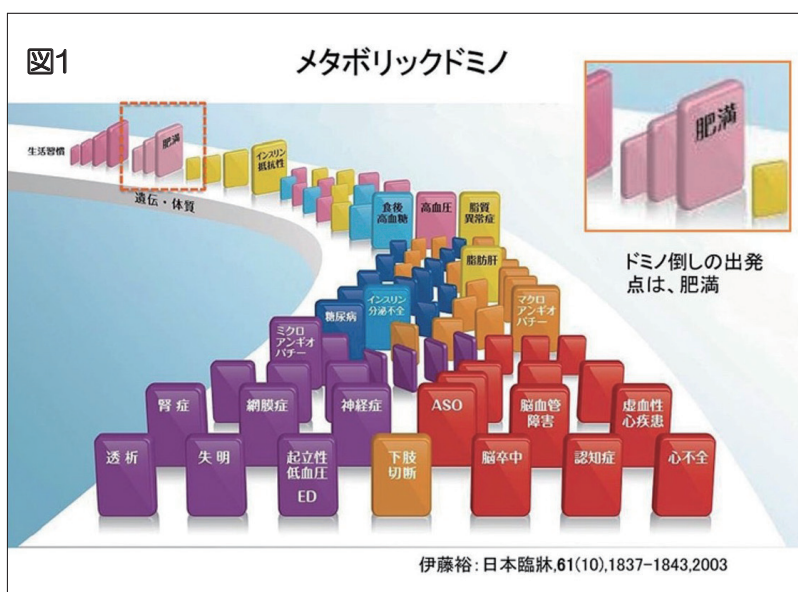
皆さん肥満は食事や運動で改善できるものと思っていないでしょうか。肥満は放置すると高血圧、糖尿病、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群、関節への負担など、さまざまな健康障害を引き起こしてしまいます。すでに健康障害を有する場合は『**肥満症**』という慢性疾患として考えられ治療が必要な病気です。

食事や運動に気をつけていても、なかなか体重が減らない、減ってもすぐに戻ってしまうといった悩みを抱えている方も少なくありません。

体重が減らないのは意志の弱さだけが原因ではなく、体質、生活習慣、加齢、ホルモンバランスなど複数の要因が関係しているため医学的な視点から継続的にサポートしていくことが大切です。

メタボリックドミノという言葉があります。肥満症から始まり高血圧症や糖尿病となり最終的に心筋梗塞、脳梗塞、失明、下肢切断、透析などになることで命に関わったり、生活の質を低下させたりする病気になってしまうことを指します。

そのようになる前に最初のきっかけである**肥満症を治療することが大切です。**（次頁に続く）



富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2026年9月1日～9月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮)勝手に頭や手が震えたりすることはありませんか？」

出演者 脳神経内科部長 久保 雅寛

※放送内容・出演者については、変更となる場合があります。



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ

絶賛
放送中

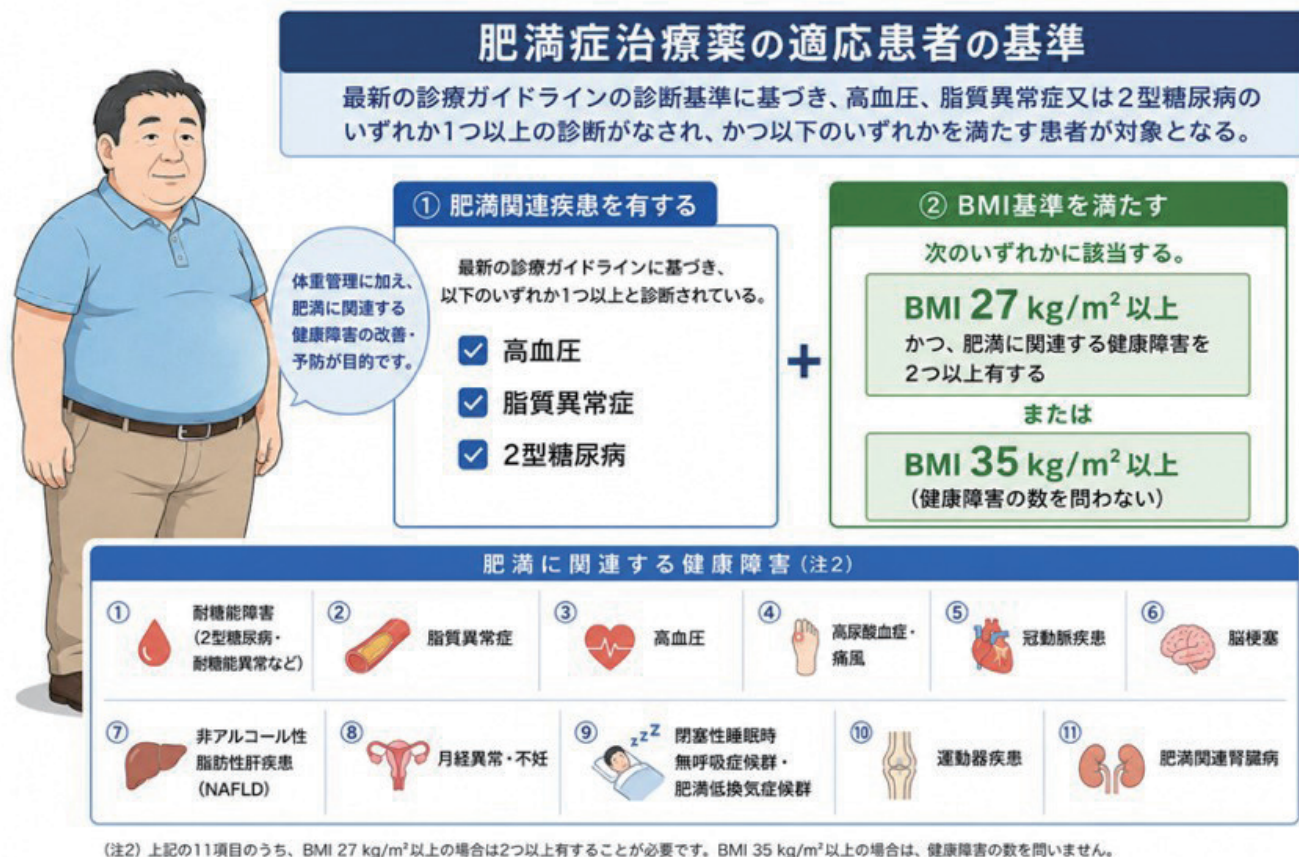


【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/>

肥満症治療は①食事運動療法、②薬物治療、③外科手術（胃スリーブ手術など）があります。今まで治療効果が望めるような薬がほとんどなかったですが、GLP-1受容体作動薬（ウゴビー）とGIP/GLP-1受容体作動薬（ゼップバウンド）という自己注射薬の登場で薬物治療が劇的に進化しました。

肥満症新規薬物治療を受けられるのはBMI27以上で高血圧症、脂質異常症、糖尿病のいずれか一つを有しかつ肥満関連健康障害を一つ以上有する場合かBMI35以上の場合です。



また、開始まで2か月ごと計6か月以上の通院と栄養指導受講、運動療法の継続が必要であり、薬剤使用中もずっと継続する必要があります。最近では、中等症以上の睡眠時無呼吸症候群を有する肥満症の場合も治療適応となりました。

注射薬の使用により体重は約15-20%低下します。そして体重低下により血圧やコレステロール値、血糖値など関連する健康障害も改善します。さらに心臓病のある肥満症患者さんは薬を使用することで使用しなかった患者さんと比較して20%も心筋梗塞や心不全のイベントを減らしたという結果も報告されています。

繰り返しになりますが、肥満症は自己責任ではなく治療が必要な病気です。当院での肥満症治療は単に体重を落とすことだけを目的とするのではなく、血糖値や血圧の改善、膝や腰への負担軽減、将来的な生活習慣病の予防など、心身の健康を総合的にサポートしていくことを大切にしています。

すでに治療を始められている方もこの記事を読んでこれから治療をしようと思われた方も是非富山ろうさい病院で一緒に治療をしていきましょう。肥満症は、早めに向き合うことで健康改善につながります。健康な毎日を目指す第一歩として、ぜひ当院の肥満症治療をご活用ください。

診療を希望される方は、事前に総合サポートセンター（電話 0765-22-1354）にてご予約ください。